

2019Japan National Team Report ” サポーター”



J.O.D.A.
JAPAN OPTIMIST
DINGHY ASSOCIATION

報告者氏名	北原 まつ子
大会名	世界選手権 IODA WORLD SAILING CHAMPIONSHIP 2019
開催地	Antigua and Barbuda アンティグア バーブーダ
大会期間	2019.7.6～16

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	安定した貿易風が入り、毎日同じ時間に出艇することができ、ハーバーバックもほぼ同じ時間となり、生活のリズムをつかみやすかったと思います。 大会期間中 1日だけ大雨の台風のような日がありました。 ボランティアの方も多く、不自由なく過ごせました。
宿泊場所	Marina & Resort Limited Falmouth Harbour St. Paul Antigua 開催地イングリッシュハウスーパーから徒歩15分のヨットハーバー併設のコンドミニアム キッチン有
大会のサポーターへの対応は	特になし
選手たちのコンディションいつもとどうでしたか？	大会期間より前に到着することができたので、良かったのではないかと思います。 睡眠、食事もしっかりと取れていました。
サポーターとして気をつけたことは？	現地の食事は悪くはなかったようですが、食事面を一番に考えましたので、部屋で調理をして食べることもありました。持参した炊飯器や食材を使って 日本食を作ることができました。 また現地の大型スーパーマーケットでの調達も可能でした。 ランチはサンドイッチやベーグルが配られました。選手はおにぎりを毎朝作り海上へ持っていきました。しっかり食べてくれることとリラックスすることを大切に気を付けました。
海外の選手を見て感じたことは？	昨年までのワールドでは、体格の小さい選手が多くみられましたが、今年は体格の大きい選手が多くみられました。開催地によつての出場選手の違いを感じました。
日本の選手を見て感じたことは？	生活のリズムもできていて、食事もしっかり取れていたように思います。 オンとオフも上手く切り替えが出来ていて、他国の選手とも楽しく交流できたのではないかと 思います。

Spare dayの過ごし方は？	宿泊ホテル前のハーバーで チームレースが行われました。決勝戦を観戦したり、海に入ったりとゆっくりと過ごしました。
日本チームとしての課題はありましたか	
JODAへの要望	お借りして持参した 炊飯器が活躍しました。炊飯器を借りられると有難いと感じました。また、国旗などがあると良いかと思いました。
その他	ハーバーでは、飲み水は大きなサーバーが用意され、水筒を持参し利用しました。また、ハーバー内にマジックマリンのショップ、コンビニのようなお店、お土産や、パン屋、カフェレストランなどがあり、不便はありませんでした。徒歩圏内にスーパーもありました。日本チームの滞在ホテルは ハーバーからの徒歩圏。

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会